

令和5年度 シラバス

教科	SS研究	科目	SS研究基礎		単位数	1	履修学年	1	学科・コース	普通科・理数科																				
教科書	なし			副教材等	啓林館「課題研究メソッド 2ndEdition」			担当者	○木村、山形、1 学年																					
1. 科目の目標				2. 学習の進め方や留意点				3. 評価の観点と函中コンピテンシー																						
グループワークによるプロジェクト学習として地域の観光資源である大沼をフィールドにし、主に調査・研究の手法並びに考察・情報発信の手法及び課題発見方法を学ぶ。				身近な事象に対しての興味・関心を持つことが大切です。また、文献調査や論文講読等により先行研究を調べた上で、未知の事象に対して考え抜くことを意識してください。実験室での作業及び大沼周辺部でのフィールドワーク時には、教員の指示に従って活動してください。				<table><tr><td></td><td>知識・技能</td><td>思考・判断・表現</td><td>主体的な態度</td></tr><tr><td>傾聴力</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>思考力</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>先見力</td><td></td><td>○</td><td></td></tr></table>				知識・技能	思考・判断・表現	主体的な態度	傾聴力	○		○	思考力	○	○		協働力		○	○	先見力		○	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的な態度																											
傾聴力	○		○																											
思考力	○	○																												
協働力		○	○																											
先見力		○																												

4. 学習計画と評価規準

月	単元・学習内容	時間	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	オリエンテーション ガイダンス	1	話の流れを予想しながら、なぜだろう？という気持ちを持って話を聴くことができる。	話の流れを予想しながら、なぜだろう？という気持ちを持って話を聴くことができる。	話の流れを予想しながら、なぜだろう？という気持ちを持って話を聴こうとすることができる。
5	Research Questionとは何か 大沼環境調査講習会	1 1			
6	大沼環境調査事前指導 大沼環境調査 大沼環境調査まとめ	1 3 1	様々な分析方法に触れ、フィールドワークで得たサンプルがどのように数値化されるのかを理解している。	グループ内で分担して調査を行うことができる。また、困ったときにはお互いに助け合うことができる。	グループ内で分担して調査を行うことができる。また、困ったときにはお互いに助け合おうとすることができる。
7	論文講読（コース制）	1	何に注目して論文を読めばよいのか理解している。	何に注目して論文を読めばよいのか理解し実践できる。	何に注目して論文を読めばよいのか理解し実践しようとすることができる。
8 9 10	コース別研究	7	先行研究の内容について理解し、まとめることができる。	先行研究にもとづき、研究課題と仮説を設定することができる。	仮説の検証に向けて、調査・分析を行おうとすることができる。
11	ポスター作成	3	相手が理解しやすいポスターの特徴を理解している。	構成や記載内容、図表の活用に留意してポスターを作成できる。	構成や記載内容、図表の活用に留意してポスターを作成しようとすることができる。
12	発表・質疑応答について 発表練習 SSH発表会	3 2 1	発表する際の留意点や、質疑応答のパターンについて理解している。	相手に伝わりやすいように気をつけて発表したり、質疑応答を適切に行うことができる。	相手に伝わりやすいように気をつけて発表したり、質疑応答を適切に行おうとすることができる。
2	1年間の振り返り	1	これまでの活動がどのように自分の資質・能力とつながっているか理解している。	1年間の自分の活動を振り返り、自分の強みと弱みを考察することができる。	1年間の自分の活動を振り返り、自分の強みと弱みを考察しようとすることができる。